

# 太田川ダムだより

発行：静岡県太田川ダム建設事務所 第2号 平成14年8月

## 本号の内容

親と子のダム見学会を開催

流れ清き太田川 ～太田川をのぞいてみれば～（静岡県企業局）

太田川の水質（トリハロメタン）Q & A（静岡県企業局）

ダム本体工事の本格的着工 ～付替県道の一部開通～

環境に配慮した工事の施工 ～太田川ダム環境対策連絡会の設置～



ちょうさおうこう

▲調査横坑に入って、ダムを支える岩盤を見学しました。



▲ダムがどのようにできていくのかを勉強しました。

## 第13回

### 「親と子のダム見学会」を開催しました。

平成14年7月27日に太田川流域に住む小学生と保護者の方を対象とした見学会を開催しました。

調査横坑の中で岩盤をハンマーでたたいて硬さを確認したり、ダム本体工事の現場では説明に聞き入るなど、子どもたちは興味津々。

見学後は記念植樹を行い、竹で水鉄砲を作ったり、川遊びをして楽しみました。きっと、夏休みの思い出のひとつになったことでしょう。

8月下旬には、一般の方を対象とした「太田川ダム見学会」を開催します。

# 太田川の水質(トリハロメタン)Q&A

Q1 トリハロメタンとは何ですか。また、その特性を教えてください？

A1 トリハロメタンは、消毒用の塩素と水中の有機物が反応して生成する物質で、「発癌性がある」といわれています。

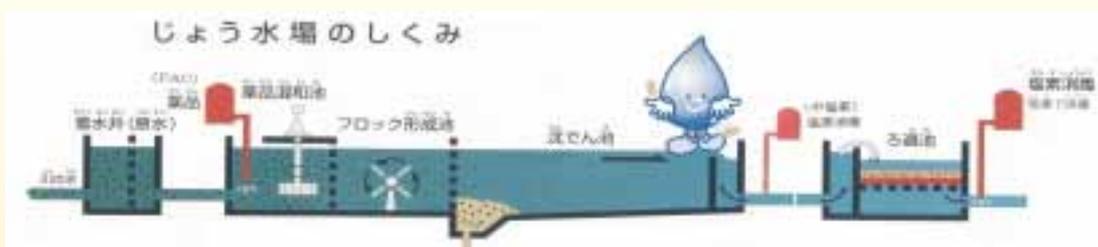
水道水を安心して飲めるよう、トリハロメタンの水質基準は0.1 mg/Lと決められています。

一般に、雨が降って川が濁ると濁質に含まれる有機物が多くなりトリハロメタンが発生しやすくなります。トリハロメタンの発生を防止するポイントは、濁質に混ざっている有機物を取り除くことです。

Q2 雨で濁った時はどのように処理するのですか？

A2 水道の浄水処理では、濁った水をゆっくり沈殿池を通過させることにより、濁りと一緒にトリハロメタンの原因物質のほとんどが沈殿除去されます。

濁りの取れた水に消毒用の塩素を注入し、ろ過池で砂の層を通過させ、細かな浮遊物を取り除きます。最後に塩素の量を調整し、安全な水を供給します。



では、浄水処理で実際にどの程度トリハロメタンが除去できるかを天竜川の水を浄水処理している寺谷浄水場の実測値で示します。平成14年7月9日の台風6号の翌日で濁りの多い日にトリハロメタンを測定したところ、**浄水処理後の値は0.02 mg/L(水道水の水質基準 0.1 mg/L)**と水質基準を大幅に下回る値が測定されました。

Q3 太田川の水は安全に処理出来るのですか？

A3 天竜川で測定した同じ7月9日に、太田川の河川水について室内で浄水処理と同様の実験を行いました。その結果、処理前の原水の値が0.07 mg/Lに対し、処理後は**0.03 mg/Lと水質基準を十分満足**するものでした。太田川の水は台風で濁った状態でも通常の浄水処理により安全な水道水に使用できることが確認されました。

※太田川系の浄水施設はまだ建設されていないので、実際の浄水場での測定はできませんが、室内で浄水処理と同様の実験を行いました。

なお、濁りの少ない日(平成14年6月16日)にも同様の実験を行った結果、**原水で0.02 mg/L、処理後は0.01 mg/L未満**で、水道水の水質基準に対して全く問題ありませんでした。これらのことから、**太田川は良質な水道水源**であることが確認されました。

